

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	中国語第二		
英文授業科目名	Elementary Chinese II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報工学科 電子工学科 知能機械工学科		
担当教官名	孫 月鷲		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ajioka19540503@yahoo.co.jp	

【主題および達成目標】
<p>本授業は中国語第一を勉強した学生を対象に、中国語の正しい発音と基礎文法を習得すると同時に、簡単な生活用語を話せることを目標とする。</p> <p>また、本文の朗読を通じて発音と声調を定着させることも考えている。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
選択中国語第一

【教科書等】
教科書：範建明『身につく中国語コミュニケーション入門編』隆美出版
参考書：孫猛・王曙光『実用中国語ハンドブック』、『中日辞書』など隆美出版

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

前期と同じ教科書を使い、2週間で1課を終えるように進めたいと考えている。

- 1、本文の朗読を楽しく練習しながら動作の進行、完了や比較の表現、可能、使役の言い方など中国語の基礎文法を勉強する。
- 2、習った内容を中国語で読める、聞ける、書ける、話せるように指導する。
- 3、各課修了ごとにテキストについている「宿題」の答え合わせをし、提出してもらう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中問題に対する回答、出席率、小テスト、期末テストなどを総合して評価する。

出席率が足りないものには単位を与えない。

【オフィスアワー：授業相談】

授業の前後に教室で行う。

【学生へのメッセージ】

積極的に学習する態度が望ましい。発音と声調がまだ定着していない者は欠席しないように心がけてほしい。また、授業日以外の日にも復習、予習してほしい。

【その他】

なし。